

ニッケイ俳壇

(752)

星野 瞳 選

新津 雅陽

◎終戦忌亡き兄の名の孫二人

高度上げ鷹の輪州を越え行けり

冬木立狩の靴音ひびかせて

○高浜虚子の忌日は4月8日だが、私達

は8月21日に毎年虚子忌俳句大会を催す。

作者は私たちがリベイロンピーレスで

思い出してくれたのである。

○昭和1945年8月15日に日本はボツダム宣言を受諾して、第2次世界

戦争は終つたので、終戦記念日は8月15

日になる。その日、戦争で亡くした兄を思

い出した。その兄の名をもつた一人の孫

があるのである。思えばおそらく、作者

も大正4年産まれなので日本に居た大正7年生れの私も藻屑になつて居たであ

る。本当にブラジルに来てよかつた、と

思つ。作者も私ももう先の知れぬ離ざ

れになつたので、先に亡くなつた人達が思わ

れる。

○生受けし父の祥月あやめ咲く

新緑の木漏れ陽の中通りぬけ

此處夏に南米よりの冬だより

○先きの句評に、先きの知られた者は先き

に行つた人が思ひ出されると、この作者も

私達と似通つたお齢になられたのである

が、元気でブラジルに何度も來て居られた

が、お元気を祈ります。

サンパウロ 武地 志津

市の逝去いたみ設けし文学賞三十年の経歴重し

なりき

目系の小説選考にたゞさわり彼我の興隆にひたす

れがく継ぎきし

蜘蛛の型後輩の期待の力士をとつたりで倒し相撲を取らせ

白鵬

◎麻州野の銀河に虚子を偲ぶなり

冬木立狩の靴音ひびかせて

○高浜虚子の忌日は4月8日だが、私達

は8月21日に毎年虚子忌俳句大会を催す。

作者は私たちがリベイロンピーレスで

思い出してくれたのである。

○昭和1945年8月15日に日本

はボツダム宣言を受諾して、第2次世界

戦争は終つたので、終戦記念日は8月15

日になる。その日、戦争で亡くした兄を思

い出した。その兄の名をもつた一人の孫

があるのである。思えばおそらく、作者

も大正4年産まれなので日本に居た大正7年生れの私も藻屑になつて居たであ

る。本当にブラジルに来てよかつた、と

思つ。作者も私ももう先の知れぬ離ざ

れになつたので、先に亡くなつた人達が思わ

れる。

◎身にしむや遠き異郷の夫の文
名月と共に仰げぬ旅の空
月洩れて鳴くこおろぎや土の壁
満緑や登校みな車椅子
○作者はアサメ車椅子、父は俳句をやつてい
たらしい。結婚して夫婦は北バラナに、幸
せに住んで居た。夫婦の娘は結婚して子供
の子が病気になつた。作者は看病のため
に、夫を置いて一人で日本へ行った。不幸
はそこから始まつた。孫は大きくなるにつ
れて、何千万人に一人という、進行性ジス
トロフィを病み、筋肉が徐々に消えて行く
身になり、やつと車椅子に居るだけの状態
で、ブラジルに連れ帰ることも出来ず、生
涯を車椅子で生きて居る子に尽して老いゆ
く作が来た。実際にいつまされる様な作者の
心がうかがえる。

○夫嫁で月見も出来ぬことを嘆く作者。
古布團眠れば淋し面浮かぶ
一握の月日残され毛糸編む
○開拓てふ言葉遙か移民の日
染め褪めし白き一条木の葉髮
眠る物遷えり行くもの園枯れる
古布團眠れば淋し面浮かぶ
○夫嫁で月見も出来ぬことを嘆く作者。
古布團眠れば淋し面浮かぶ
一握の月日残され毛糸編む
○6月18日は、笠戸丸が第1回移民を乗
せてサントスに入港した日で、その日を移
民の日、移住祭と云つたりして、コロニア
で記念行事をしたり、催しことが行われて
いたが、今年は何事もなかつたかと思う。
もう15年もたつたので、それにもう鉄
を引いて居る者も居なくなつた。で一句を
詠んだのである。

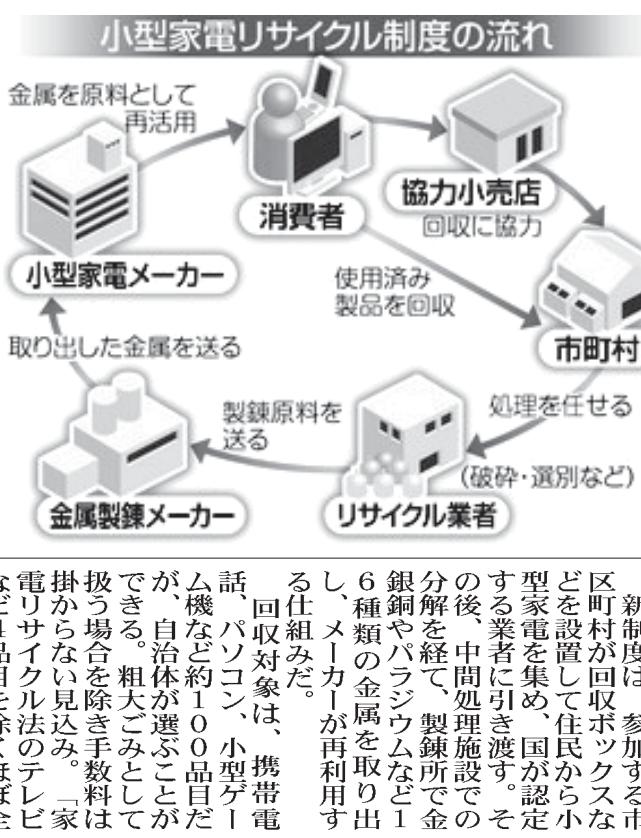
○サンパウロ
北澤鶴川市 両瀬 辰江
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
西山ひろ子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
西谷 律子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
西森ゆりえ
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
西谷 律子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉崎 貞子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
原 はるえ
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
柳原 貞子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
宮原 育子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉田 繁
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
乾季牧牛すむだけの駒は閑
馬場 照子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
宮原 育子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉田 繁
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
前田 昌弘
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
佐古田町子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
柳原 貞子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉田 繁
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
前田 昌弘
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
佐古田町子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉田 繁
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
前田 昌弘
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
佐古田町子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉田 繁
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
前田 昌弘
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
佐古田町子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉田 繁
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
前田 昌弘
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
佐古田町子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉田 繁
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
前田 昌弘
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
佐古田町子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
吉田 繁
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
前田 昌弘
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び全身に
根深汁舌やくほどにあつくして
時雨るるやあふれる程の湯にひたり
陽を追つてイベー一輪帰り咲く
○サンパウロ
佐古田町子
母亡くす
冬銀河すくひ取られし母の魂
冬の來て五感萎えゆく日々にあり
一本の青木華やぐ冬の墓地
うつすらと地に置く影や大冬木
冬日和歩けた喜び

小型家電から金属回収

取り組みに温度差

都市鉱山」有効活用へ

【共同】不要となった携帯電話など小型家電のリサイクル制度が4月1日に始まった。「都市鉱山」と呼ばれる小型家電から貴金属やアーマル(希少金属)を回収、再利用するのが狙いだ。ただ、制度に参加するかどうかは地方自治体の判断に委ねられ、取り組みに温度差が出ている。



月、福岡県内の北九州、福岡、直方の3市と連携して小型家電を回収する実証実験をスタートした。

3市に約100カ所の回収ボックスを設置し、

携帯電話やデジタルカメラなどを集め、同社の処理施設で金屬を製錬、分別後、

施設で金屬を製錬会社に売却している。

同社は4月に新制度の認定を申請する。

担当者は「施設の処理能力には余裕がある。九州に

事業を拡大したい」と意欲を示す。

北九州市は実験結果が認定を申請する。

担当者は「施設の処理能力には余裕がある。九州に



日本移植民の原点探る
レジスタンス地方

入植百周年
(17)

数年で南部3州発展と確信

◇前史編◇

い、仏国流のデプロマア、フランスなどの国民

持つていた。南大河州の人を比較する

シを濫用して、口約束の

に比すれば両市民の気風

に非常の懸隔あるを見

る》と觀察している。

青柳はドイツ、イタリ

や、品質などにも通じ、ブ

ラジル人の中でも聖州人

と南大河州人を比較する

など、當時、稀といえる

鋭い国際的な観察眼を

も、ドイツのバンブルグ

鉄板などは英國製品より

もトヨタのバンブルグ

製品を直接輸入し、さら

に松や杉などの木材など

をドイツに輸出している

もトヨタのバンブルグ

に実質的に「占領」され

ているかのような現状に

青柳は感心し、それを

可能にしているのはドイ

ツ式教育だと分析した。

様子も詳細に観察してい

る。

グアタバラ農事文化体
育協会(茂木常男会長)は13、
14の両日、同会館で「グアタバラ移
住地入植5周年祭」を開き、会員や
地域住民ら多くの来場者で賑わつた。
モンブツカ墓地の「招在サンパウロ総領事館」
で、一人献血・焼香を行つた。

祝辞を述べた。在サンパウロ総領事館
では、サミ功労者表彰では、サミ

魂碑前でカトリック式の佐野治明首席領事、
遠藤浩昭JICAブラジル事務所次長、サミル・
レンドンド市長、アドリアーナ・セルトリ教育長、
ジゼ・アンセルモ・ミランダ市議会議長らが捧げられ、参列者は一人献血・焼香を行つた。

グアタバラ農事文化体

育協会(茂木常男会長)

は13、14の両日、同

会館で「グアタバラ移

住地入植5周年祭」
並びに

グアタバラ農事文化体

育協会(茂木常男会長)

